

川崎市国際交流員

# CIR 紹介



トン・アンジーさん  
(Angie Tong)

## はじめまして! よろしくおねがいます!!

皆様、はじめまして! カナダ・トロント出身のトン・アンジー(Angie Tong)です。2013年9月から、川崎市役所で国際交流員として勤めています。

小さいころ埼玉県に住んでいた時期があり、その後カナダへ移住しても、世界の裏側から日本に対して深い興味をずっと持ち続けていました。日本の魅力を味わいながら日本語を身につけ、日本についてもっともっと知りたいという気持ちから、日本へ旅行するだけでなく、日本で長期生活してみたいという思いがなによりも強くなりました。

川崎で生活し始めてからあっという間にもう半年。これからも、日本で暮らしているからこそ経験できる文化や風景、食や絆、実際の日本を体験し、生きがいを感じる毎日を過ごしていきたいと思っています。

国際交流は国と国のエクスチェンジ(交流)もありますが、個人的には、人と人のコミュニケーションから始まることではないだろうかと思っています。「一期一会」…この言葉に基づいて、今までの出会いを大切にしながら、これからの一つ一つの出会い、市民の皆様と交流できることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします!

## 「Winter Gathering」

### ~みんなで創る多文化の集い~

多文化  
交差点

16  
【たぶんかこうさてん】

ペルー出身リッキー・ロドリゲスさんの手作りケーナの演奏から始まった今回の集いは、幾多の国の人々とともに多文化を感じることができる温かい時間でした。

講演ではルワンダ出身、福島市在住(来日20年)のカンベンガ・マリールイズさんによるユーモア溢れる流暢な日本語のお話をうかがいました。内戦、大地震を経験したカンベンガさんの言葉「出会いには力がある」「生きていれば必ずいい日がある」が心に残りました。最後に「Believe」の音楽と共に流れたルワンダの子どもたちのビデオレターでの輝いた笑顔には真の生きる力を感しました。



▲講師:カンベンガ・マリールイズさん



▲世界のお茶めぐり(ブラジル)

震災・自然災害の支援グループ・FMA J(フィリピン出身)、震災後に被災地支援を続けている山本宏和さん、カンボジア



ケーナ奏者  
リッキー・ロドリゲスさん▶

で同世代の子ども達と接してきた中学3年生水谷涼香さんのお話に加えてさまざまな文化の音楽、ダンスなど盛りだくさんの集いになりました。

多文化を知ることで、新たな世界に目を向けるよい機会になったことと思います。今後も続いていくことを期待しています。

(取材・文:編集ボランティア 相沢明子)  
(写真:撮影ボランティア 安田芳郎)